地場企業の経営動向調査

(令和2年度第3四半期)

総合企画部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

(1)調查目的

福岡市内地場企業(一部福岡市近郊を含む)の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

(2)調査対象

当所会員企業を対象とし2,000社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業1,906社(構成比率95.3%)、大企業94社(構成比率4.7%)により構成されている。

回答した企業数は560社、回答率28.0%となっており、回答企業の内訳は、中小企業533社(構成比率95.2%)、大企業27社(4.8%)となっている。

(3)調査要領

四半期毎にアンケートを実施し、今回ファクスを利用した。 内容は前年同期比の回答を求めるもので、今回は令和2年10~12月期の 実績、及び令和3年1~3月期の予想について、令和2年12月時点で調査した。

(4)調查内容

※DI値を集計(DI=「良いとする回答割合」ー「悪いとする回答割合」) DI・・・ Diffusion Index (景気動向指数)の略

≪ 景気・経営動向調査 ≫

- 1. 自社・業界の景況
- 2. 生產額、売上額、完成工事高
- 3. 原材料•製(商)品仕入価格
- 4. 受注価格、販売価格
- 5. 製(商)品在庫
- 6. 営業利益
- 7. 資金繰り
- 8. 当面の経営上の問題点

調査対象企業数及び回収結果

	規模	別		対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全	業		種	2,000	560	28.0%	
中	小	企	業	1,906	533	28.0%	95.2%
大	企		業	94	27	28.7%	4.8%

業 種 別	対象数	回答数	回答率	回答結果 構成比
全 業 種	2,000	560	28.0%	
建 設 業	347	107	30.8%	19.1%
土 木 建 設 業	141	41	29.1%	7.3%
建設付帯工事業	83	22	26.5%	3.9%
電気・管工事業	123	44	35.8%	7.9%
製 造 業	237	77	32.5%	13.8%
食料品製造業	74	16	21.6%	2.9%
繊維製品製造業	10	3	30.0%	0.5%
建材・木・紙製品製造業	10	3	30.0%	0.5%
印刷・製本業	46	13	28.3%	2.3%
窯業・土木製品製造業	9	2	22.2%	0.4%
金属製品製造業	21	14	66.7%	2.5%
一般機械器具製造業	22	9	40.9%	1.6%
電 気 機 械 器 具 製 造 業	21	8	38.1%	1.4%
その他製造業	24	9	37.5%	1.6%
卸 売 業	305	102	33.4%	18.2%
食料品 卸売業	82	24	29.3%	4.3%
繊維製品 卸売業	26	7	26.9%	1.3%
建 材・住 宅 機 器 卸 売 業	41	21	51.2%	3.8%
金属 • 鋼 材 卸 売 業	5	3	60.0%	0.5%
一般機械器具卸売業	54	12	22.2%	2.1%
電 気 機 械 製 品 卸 売 業	8	4	50.0%	0.7%
石油・化学製品卸売業	11	5	45.5%	4.7%
その他卸売業	78	26	33.3%	4.6%
小 売 業	222	55	24.8%	9.8%
食料品小売業	56	13	23.2%	2.3%
衣料品・身の回り品小売業	33	9	27.3%	1.6%
石油・化学製品小売業	12	5	41.7%	0.9%
車両運搬具小売業	15	3	20.0%	0.5%
家電・厨房器具小売業	21	4	19.0%	0.7%
量 販店	4	1	25.0%	0.2%
その他小売業	81	20	24.7%	3.6%
運輸・倉庫業	115	37	32.2%	6.6%
旅客運送業	38	9	23.7%	1.6%
貨物運送・倉庫業	77	28	36.4%	5.0%
サービス業	774	182	23.5%	32.5%
情報処理サービス業	109	32	29.4%	5.7%
その他事務所サービス業	370	90	24.3%	16.1%
ホテル・旅館・飲食業	104	20	19.2%	3.6%
その他の個人サービス業	191	40	20.9%	7.1%

1. 自社・業界の景況

《持ち直しの傾向、次期もわずかに改善見込みだが予断を許さない状況が続く見通し》

今四半期(令和2年10月~12月)の地場企業の景況判断は、全業種で「良くなった」と回答した企業割合は10.4% (前期比+3.0%)、「悪くなった」と回答した企業割合は51.3% (前期比 \triangle 16.2%)、「横ばい」であると回答した企業割合は28.0% (前期比+6.4%)となった。景況判断指数DI値は \triangle 40.9 (前期DI値 \triangle 60.1)となり、前期比で19.2ポイント改善。最も悪化した前々期(令和2年4~6月期)から持ち直しの傾向。

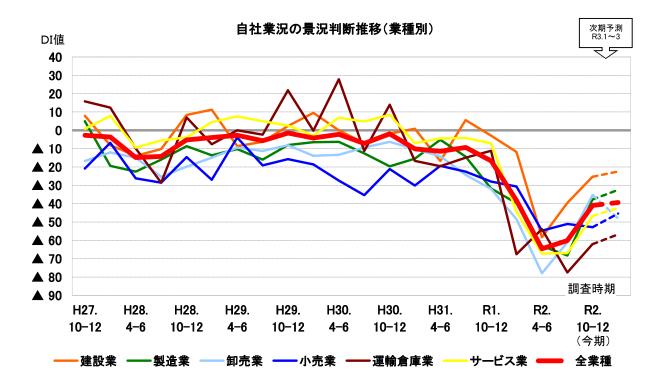
業種別にみると、6業種中、小売業を除く5業種で改善。具体的には、製造業(前期▲68.2→今期▲37.7、前期比+30.5)、卸売業(▲61.0→▲35.3、前期比+25.7)、サービス業(▲66.9→▲46.7、前期比+20.2)で大幅に改善し、運輸業・倉庫業(▲77.5→▲62.1、前期比+15.4)、建設業(▲39.6→▲25.3、前期比+14.3)においても改善となった。一方、小売業(▲51.1→▲52.8、前期比▲1.7)においては悪化した。

規模別にみると、中小企業(前期▲60.6→今期▲42.0)は前期比+18.6ポイント、大企業(前期▲52.0→今期▲18.5)は前期比+33.5ポイントと、ともに改善した。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については▲39.4となっており、今期比+1.5ポイントと若干改善する見通し。しかし、コロナ以前の平年水準を大きく下回っており、また調査開始後、GoToトラベルー時停止の発表(12/14)、緊急事態宣言の発令(1/13)等状況が変化しており、依然として予断を許さない状況が続く見通し。

《 自社業況の総合判断(前年同期と比較して) 》

				今四	半期(R	2年10~	12月期])実績			次四	g半期(I	₹3年1~	-3月期)	予測	
			非常に 良く	やや 良く	横ばい	やや 悪く	非常に 悪く	未記入	DI値	非常に 良く	やや 良く	横ばい	やや 悪く	非常に 悪く	未記入	DI値
_	業	1#	なった	なった		なった	なった	104	A 40.0	なる	なる	07.0	なる	なる	10.0	(A 00 d)
全		種	1.3	9.1	28.0	32.5			40.9		6.8	27.3	33.0	13.2	19.6	
建	設	業	0.9	4.7	52.3	23.4	7.5	11.2	▲ 25.3		9.3	36.4	28.0	3.7	22.4	
製	造	業	2.6	11.7	22.1	32.5	19.5	11.7	▲ 37.7	0.0	10.4	23.4	29.9	13.0	23.4	▲ 32.5
卸	売	業	2.0	14.7	21.6	35.3	16.7	9.8	▲ 35.3	0.0	9.8	14.7	44.1	13.7	17.6	▲ 48.0
小	売	業	1.8	12.7	10.9	38.2	29.1	7.3	▲ 52.8	0.0	7.3	18.2	30.9	21.8	21.8	▲ 45.4
運輸	・倉	庫業	0.0	2.7	24.3	43.2	21.6	8.1	▲ 62.1	0.0	2.7	27.0	45.9	13.5	10.8	▲ 56.7
サー	-ビ	ス業	0.5	7.7	25.8	32.4	22.5	11.0	46.7	0.0	2.7	33.5	29.1	15.9	18.7	▲ 42.3
中。	小 1	主 業	0.9	8.3	28.7	32.8	18.4	10.9	42.0	0.0	6.4	27.8	32.8	13.1	19.9	▲ 39.5
大	企	業	7.4	25.9	14.8	25.9	25.9	0.0	18.5	0.0	14.8	18.5	37.0	14.8	14.8	▲ 37.0



2. 生產額、売上額、完成工事高

《改善。次期も改善の見通し》

生産額、売上額、完成工事高については、全業種で「増えた」と回答した企業は11.4%(前期比4.6%)、「減った」と回答した企業は51.1%(前期比▲13.2%)、「横ばい」と回答した企業は33.6%(前期比+6.6%)となっており、DI値は▲39.7(前期DI値▲57.5)と、前期比+17.8ポイントの改善となった。

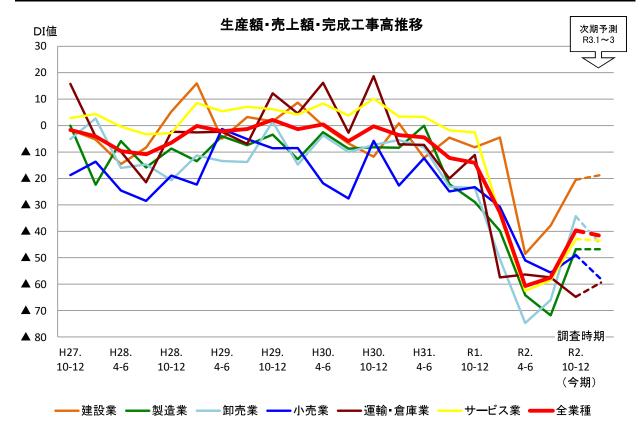
業種別にみると、卸売業(前期 \blacktriangle 66.0→今期 \blacktriangle 34.3、前期比+31.7)、製造業(\blacktriangle 71.8→ \blacktriangle 46.8、前期比+25.0)、建設業(\blacktriangle 37.8→ \blacktriangle 20.5、前期比+17.3)、サービス業(\blacktriangle 58.6→ \blacktriangle 43.0、前期比+15.6)、小売業(\blacktriangle 55.6→ \blacktriangle 49.0、前期比+6.6)と6業種中、5業種が改善した。一方で、運輸・倉庫業(\blacktriangle 57.5→ \blacktriangle 64.8、前期比 \blacktriangle 7.3)のみ悪化した。

規模別にみると、中小企業(前期 \blacktriangle 57.6→今期 \blacktriangle 41.1)では前期比+16.5ポイント改善し、大企業(\blacktriangle 56.0→ \blacktriangle 11.1)では前期比+44.9ポイントの改善となった。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については▲41.8となっており、今期比▲2.1ポイント悪化の見通し。

《生産額、売上額、完成工事高(前年同期と比較して)》

				今四	半期(R	2年10~	12月期)実績			次四	9半期(₹3年1~	√3月期)	予測	
			2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全	業	種	2.1	9.3	33.6	25.7	25.4	3.9	39.7	1.3	6.3	32.3	29.6	19.8	10.7	▲ 41.8
建	設	業	1.9	8.4	56.1	18.7	12.1	2.8	▲ 20.5	1.9	9.3	44.9	22.4	7.5	14.0	▲ 18.7
製	造	業	2.6	10.4	27.3	33.8	26.0	0.0	46.8	0.0	7.8	29.9	35.1	19.5	7.8	46.8
卸	売	業	2.0	13.7	27.5	26.5	23.5	6.9	▲ 34.3	0.0	9.8	26.5	35.3	19.6	8.8	▲ 45.1
小	売	業	5.5	9.1	21.8	21.8	41.8	0.0	49.0	0.0	5.5	20.0	32.7	30.9	10.9	▲ 58.1
運輔	ѝ∙倉鳫	業	0.0	2.7	24.3	35.1	32.4	5.4	▲ 64.8	0.0	2.7	27.0	40.5	21.6	8.1	▲ 59.4
サー	- ビス	、業	1.6	8.2	31.9	25.3	27.5	5.5	43.0	2.7	2.7	34.1	25.3	23.6	11.5	▲ 43.5
中	小 企	業	1.7	8.6	34.1	25.7	25.7	4.1	▲ 41.1	1.1	6.2	32.8	29.1	20.1	10.7	41.9
大	企	業	11.1	22.2	22.2	25.9	18.5	0.0	11.1	3.7	7.4	22.2	40.7	14.8	11.1	44.4



3. 原材料、製(商)品仕入価格

《上昇。次期はほぼ横ばいの見通し》

原材料、製(商)品仕入価格については、「上昇」と回答した企業は13.6%(前期比▲0.2%)、「下落」と回答した企業は5.2%(前期比▲2.3%)、「横ばい」と回答した企業は67.1%(前期比+0.3%)となっており。DI値は+8.4(前期DI値+6.3)と前期比+2.1ポイント上昇した。

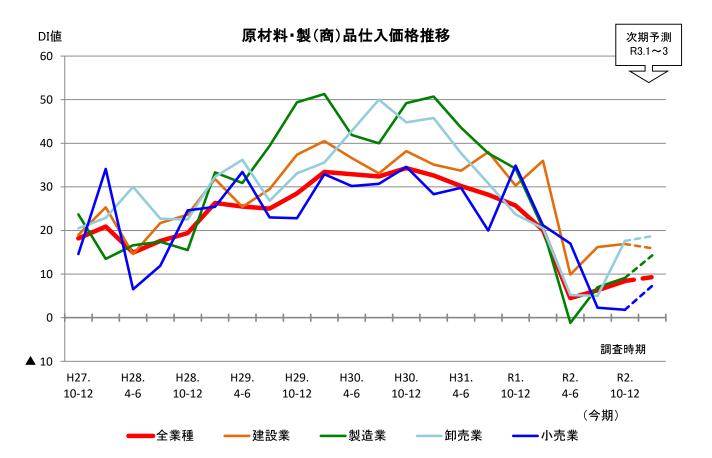
業種別にみると、6業種中4業種において上昇。具体的には、卸売業(前期+5.0→今期+17.6 前期比+12.6)、製造業(+7.0→+9.1、前期比+2.1)、運輸・倉庫業(\blacktriangle 15.0→ \bigstar 13.5、前期比+1.5)、建設業(+16.2→+16.9、前期比+0.7)は上昇した。一方、サービス業(+6.2→+4.4、前期比 \bigstar 1.8)、小売業(+2.3→+1.8、前期比 \bigstar 0.5)、は下落した。

規模別にみると、中小企業(前期+6.5→今期+9.0)では、前期比+2.5ポイントと上昇したが、大企業(±0.0→ \blacktriangle 3.7)では、前期比 \blacktriangle 3.7ポイントと下落した。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については+9.3となっており、今期比+0.9ポイントでほぼ横ばいの見通し。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》

	今四半期(R2年10~12月期)実績 次四半期(R3年1~3月期)予測													
			今四	半期(R	2年10~	-12月期)実績	次四	g半期(I	R3年1~	~3月期	予測		
			上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値		
全	業	種	13.6	67.1	5.2	14.1	8.4	13.2	63.0	3.9	19.8	9.3		
建	設	業	17.8	75.7	0.9	5.6	16.9	18.7	63.6	2.8	15.0	15.9		
製	造	業	16.9	72.7	7.8	2.6	9.1	18.2	72.7	3.9	5.2	14.3		
卸	売	業	22.5	66.7	4.9	5.9	17.6	21.6	66.7	2.9	8.8	18.7		
小	売	業	14.5	69.1	12.7	3.6	1.8	16.4	61.8	9.1	12.7	7.3		
運軸	俞∙倉庫	業	0.0	40.5	13.5	45.9	13.5	0.0	40.5	10.8	48.6	▲ 10.8		
サ・	ービス	業	7.1	64.8	2.7	25.3	4.4	4.9	61.5	2.2	31.3	2.7		
中	小 企	業	13.7	67.4	4.7	14.3	9.0	13.3	63.2	3.8	19.7	9.5		
大	企	業	11.1	63.0	14.8	11.1	▲ 3.7	11.1	59.3	7.4	22.2	3.7		



4. 受注価格、販売価格

《ほぼ横ばい、次期はわずかに上昇の見通し》

受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業は5.2%(前期比 $\triangle+0.9\%$)、「下落」と回答した企業は18.6%(前期比 $\triangle5.0\%$)、「横ばい」と回答した企業は70.0%(前期比+3.7%)となっており、DI値は $\triangle13.4$ (前期DI値 $\triangle19.3$)と前期比+5.9ポイント上昇となった。

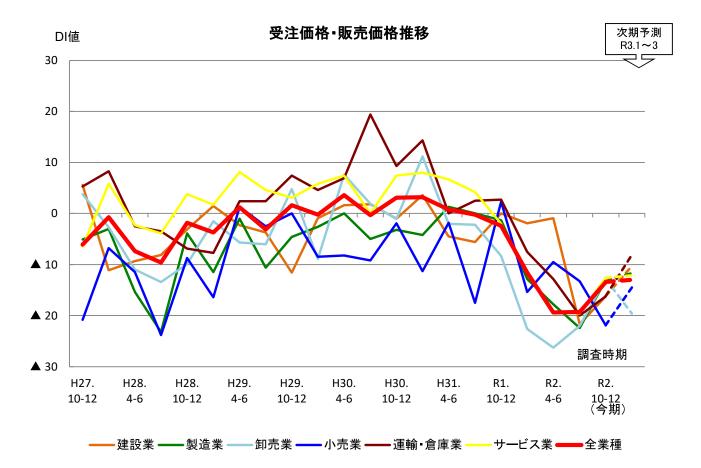
業種別にみると、製造業(前期▲22.4→今期▲13.0、前期比+9.4)、卸売業(▲22.0→▲12.8、前期比+9.2)、サービス 業(▲19.6→▲12.6、前期比+7.0)、建設業(▲16.2→▲10.3、前期比+5.9)、運輸・倉庫業(▲20.0→▲16.2、前期比+3.8)は上昇した。一方、小売業(▲13.3→▲21.9、前期比▲8.6)、では下落した。

規模別にみると、中小企業(前期 \blacktriangle 19.5→今期 \blacktriangle 14.4)では前期比+5.1ポイントと上昇し、大企業(\blacktriangle 16.0→+7.4)では前期比+23.4ポイントと大幅に上昇した。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については、▲13.0となっており、今期比で+0.4ポイントでほぼ横ばいの見通し。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》

			今四	半期(R	2年10~	12月期])実績	次	四半期(R3年1~	~3月期)予測
			上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全	業	種	5.2	70.0	18.6	6.3	13.4	4.3	65.5	17.3	12.9	13.0
建	設	業	7.5	72.9	17.8	1.9	▲ 10.3	7.5	62.6	17.8	12.1	▲ 10.3
製	造	業	1.3	84.4	14.3	0.0	▲ 13.0	0.0	80.5	11.7	7.8	▲ 11.7
卸	売	業	7.8	66.7	20.6	4.9	▲ 12.8	3.9	63.7	23.5	8.8	▲ 19.6
小	売	業	3.6	70.9	25.5	0.0	▲ 21.9	7.3	63.6	21.8	7.3	▲ 14.5
運轉	輸・倉庫	業	0.0	59.5	16.2	24.3	▲ 16.2	0.0	64.9	8.1	27.0	▲ 8.1
サ	ービス	業	5.5	65.9	18.1	10.4	▲ 12.6	4.4	62.6	16.5	16.5	▲ 12.1
中	小 企	業	4.7	69.8	19.1	6.4	▲ 14.4	3.9	65.5	17.8	12.8	▲ 13.9
大	企	業	14.8	74.1	7.4	3.7	7.4	11.1	66.7	7.4	14.8	3.7



5. 製(商)品在庫

《過剰、次期は持ち直し適正方向へ》

66.7

3.7

14.8

製(商)在庫については、「適正」と回答した企業は65.2%(前期比+4.5%)、「不足」と回答した企業は2.7%(前期比+0.4%)、「過剰」と回答した企業は7.9%(前期比 \blacktriangle 5.1%)となっており、DI値は \blacktriangle 5.2(前期DI値և10.7)と前期比+5.5ポイント改善したが、依然として過剰状態となった。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については、 $\blacktriangle4.1$ となっており、今期比+1.1ポイントで適正方向へ推移する見通し。

《 製	《 製(商)品在庫(貴社の適正水準と比較して) 》 (単位 %)														
			今四	半期(R	2年10~	-12月期])実績	次四	日半期(I	₹3年1~	-3月期)	予測			
			不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値			
全	業	種	(2)	65.2	7.9	24.3	▲ 5.2	2.0	62.5	6.1	29.5	4.1			
建	設	業	1.9	57.9	0.9	39.3	1.0	1.9	51.4	0.0	46.7	1.9			
製	造	業	2.6	90.9	5.2	1.3	▲ 2.6	1.3	85.7	6.5	6.5	▲ 5.2			
卸	売	業	3.9	70.6	21.6	3.9	▲ 17.7	1.0	75.5	13.7	9.8	12.7			
小	売	業	1.8	85.5	10.9	1.8	▲ 9.1	5.5	78.2	7.3	9.1	▲ 1.8			
運輸	҈∮倉庫	業	0.0	29.7	8.1	62.2	▲ 8.1	0.0	29.7	8.1	62.2	▲ 8.1			
サー	-ビス	業	3.3	56.6	4.4	35.7	▲ 1.1	2.2	53.8	4.4	39.6	▲ 2.2			
中	小 企	業	2.6	65.1	7.5	24.8	4 .9	1.9	62.5	5.8	29.8	▲ 3.9			

14.8 **11.1**

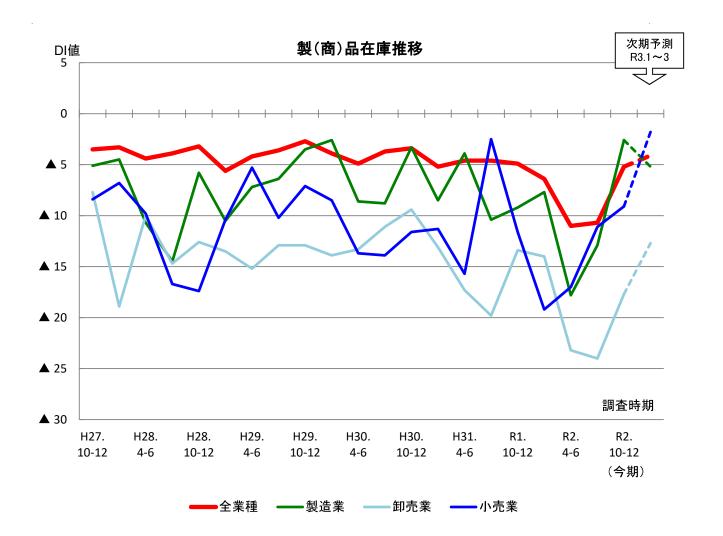
3.7

63.0

11.1

22.2

▲ 7.4



6. 営業利益

《大幅な悪化》

営業利益については、「増加」と回答した企業は11.6%(前期比+5.2%)、「減少」と回答した企業は52.7%(前期比 ▲10.9%)、「横ばい」と回答した企業は33.8%(前期比+5.6%)となっており、DI値は▲41.1(前期DI値▲57.2)で前期比+16.1ポイントと大幅に改善したが、依然として低水準で推移している。

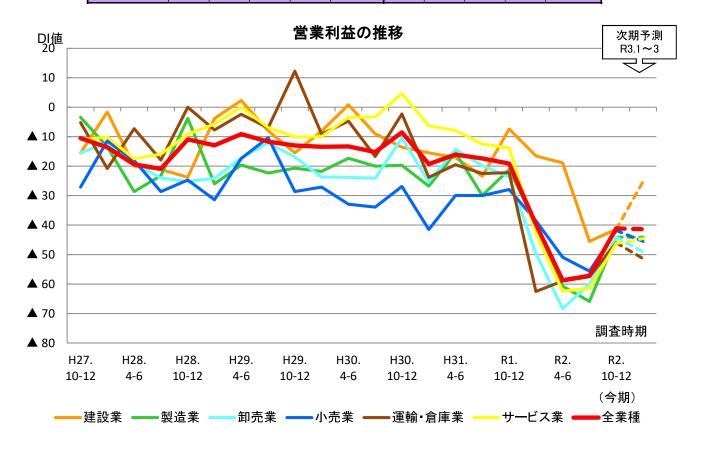
業種別にみると、製造業(前期▲65.9→今期▲44.1、前期比+21.8)、建設業(▲41.4→▲25.2、前期比+16.2)、卸売業(▲60.0→▲44.1、前期比+15.9)、サービス業(▲61.5→▲46.2、前期比+15.3)、小売業(▲55.6→▲41.8、前期比+13.8)、運輸・倉庫業(▲57.5→▲46.0、前期比+11.5)と全業種において改善した。

規模別にみると、中小企業(前期▲57.7→今期▲42.2)では前期比+15.5ポイント改善、大企業(▲44.0→▲18.5)でも前期比+25.5ポイントと改善した。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については、▲41.4となっており、今期比▲0.3ポイントと若干ではあるが、悪化する見通し。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

			今四	半期(R	2年10~	~12月其	朋)実績	次	四半期(R3年1	~3月期)予測
			増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI值
全	業	種	11.6	33.8	52.7	2.0	41.1	7.0	35.0	48.4	9.6	▲ 41.4
建	設	業	11.2	50.5	36.4	1.9	▲ 25.2	12.1	43.0	33.6	11.2	▲ 21.5
製	造	業	14.3	24.7	58.4	2.6	▲ 44.1	9.1	27.3	53.2	10.4	▲ 44.1
卸	売	業	9.8	35.3	53.9	1.0	44.1	2.9	37.3	52.0	7.8	▲ 49.1
小	売	業	20.0	18.2	61.8	0.0	▲ 41.8	14.5	18.2	60.0	7.3	▲ 45.5
運輔	艙●倉庫	業	10.8	27.0	56.8	5.4	46.0	2.7	35.1	54.1	8.1	▲ 51.4
サ -	ービス	業	9.3	33.0	55.5	2.2	▲ 46.2	3.8	37.4	48.4	10.4	▲ 44.6
中	小 企	業	10.7	34.3	52.9	2.1	▲ 42.2	6.9	35.5	48.0	9.6	▲ 41.1
大	企	業	29.6	22.2	48.1	0.0	▲ 18.5	7.4	25.9	55.6	11.1	▲ 48.2



7. 資金繰り

《改善。次期は悪化する見通し》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は9.8% (前期比+4.6%)、「苦しい」と回答した企業は20.9% (前期比 \triangle 4.5%)、「不変」と回答した企業は67.3% (前期比+0.3%)となっており、DI値は \triangle 11.1 (前期DI値 \triangle 20.2)と前期比+9.1ポイントと改善した。

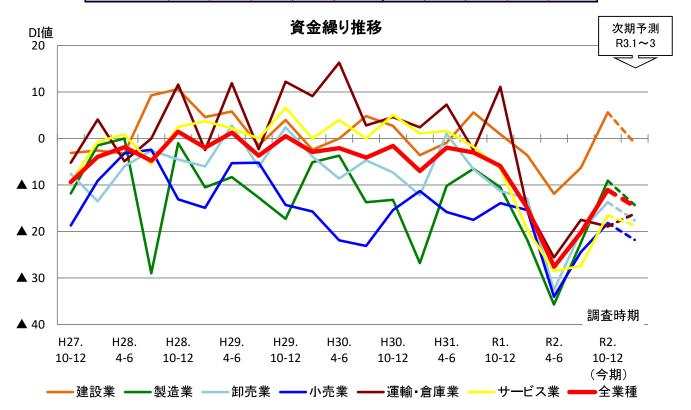
業種別にみると、製造業(前期 \blacktriangle 22.4→今期 \blacktriangle 9.1、前期比+13.3)、建設業(\blacktriangle 6.3→+5.6、前期比+11.9)、サービス業(\blacktriangle 27.4→ \blacktriangle 16.5、前期比+10.9)、卸売業(\blacktriangle 20.0→ \blacktriangle 13.7、前期比+6.3)、小売業(\blacktriangle 24.4→ \blacktriangle 18.2、前期比+6.2)では改善した。一方、運輸・倉庫業(前期 \blacktriangle 17.5→今期 \blacktriangle 18.9、前期比 \blacktriangle 1.4)では悪化した。

規模別にみると、中小企業(前期 \blacktriangle 21.7→今期 \blacktriangle 12.0)は前期比+9.7ポイントでは改善、大企業(+12.0→+7.4)では前期比 \blacktriangle 4.6ポイントと悪化した。

次四半期(令和3年1月~3月)予測については、▲14.6となっており、今期比で▲3.5ポイントと悪化の見通し。

《 資金繰り(前年同期と比較して)》

			今四	半期(R	2年10~	12月期)実績	次四	四半期(1	₹3年1~	√3月期)	予測
			楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全	業	種	9.8	67.3	20.9	2.0	▲ 11.1	7.7	61.6	22.3	8.4	▲ 14.6
建	設	業	13.1	76.6	7.5	2.8	5.6	9.3	69.2	10.3	11.2	▲ 1.0
製	造	業	13.0	63.6	22.1	1.3	▲ 9.1	13.0	53.2	27.3	6.5	▲ 14.3
卸	売	業	6.9	70.6	20.6	2.0	▲ 13.7	4.9	64.7	22.5	7.8	▲ 17.6
小	売	業	14.5	52.7	32.7	0.0	▲ 18.2	7.3	56.4	29.1	7.3	▲ 21.8
運軸	谕· 倉原	1	8.1	64.9	27.0	0.0	18.9	8.1	64.9	24.3	2.7	▲ 16.2
サ・	ービス	く業	7.1	66.5	23.6	2.7	▲ 16.5	6.0	59.9	24.7	9.3	▲ 18.7
中	小 企	業	9.4	67.2	21.4	2.1	12.0	7.3	61.5	22.9	8.3	▲ 15.6
大	企	業	18.5	70.4	11.1	0.0	7.4	14.8	63.0	11.1	11.1	3.7



8. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点として最も多かったのは、「受注、需要の増加又は減少」47.5%(前期比41.4%)であり、次いで、「営業利益の低下」41.3%(前期比43.2%)、「人材難、求人難、定着化の悪化」35.4%(前期比46.3%)、「経費の増加」21.1%(前期比40.9%)、「天候などの自然条件」15.9%(前期比47.9%)となった。

業種別でみると、製造業、卸売業、サービス業では「受注、需要の増加又は減少」が多く、小売業では「営業利益の低下」が多い。また、運輸・倉庫業では、「営業利益の低下」と「人材難、求人難、定着化の悪化」が同率で多かった。建設業では「人材難、求人難、定着化の悪化」と回答する企業が多かった。

規模別にみると、中小企業、大企業ともに「受注、需要の増加又は減少」が多かった。(中小企業:47.3%、 大企業:51.9%)

«	当面の経営上の問題点(複数回答可)	>>
W		

(単位 %)

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
			条天	加受	出店同	官	輸	少元	低操	難原	の出	過	嫁販	増難販	化売
	問		件候	又注	`業	公	出	$\overline{}$	下業	材	値荷	剰	難売	加、売	`掛
	. i 題 点		な	は、	大者	需	の	直	率	料	下 `	在	価	不代	
	占		ど	減 需	型、	要	不	$\overline{}$	`	高	げ納	庫	格	良金	形間
	711/		の	少要	店類	の	振	請	稼	`	要品		^	債の	化の
			自 然	の	の似	停		の	働	入	請価		の	権回	長
			然	増	進	滞		減	率	手	格		転	の収	期
全	業	種	$\bigcirc 15.9$	47.5	6.3	7.9	2.7	6.6	8.8	9.1	4.3	4.5	10.9	2.0	2.1
建	設	業	10.3	38.3	2.8	18.7	0.9	14.0	1.9	9.3	1.9	0.0	4.7	0.9	2.8
製	造	業	13.0	67.5	6.5	3.9	3.9	0.0	24.7	16.9	9.1	3.9	18.2	1.3	0.0
卸	売	業	18.6	58.8	8.8	4.9	2.0	3.9	4.9	9.8	6.9	13.7	13.7	4.9	2.9
小	売	業	36.4	40.0	12.7	5.5	3.6	3.6	3.6	12.7	5.5	7.3	16.4	0.0	3.6
運車	輸・倉 庫	業	24.3	29.7	2.7	0.0	16.2	5.4	18.9	2.7	2.7	5.4	8.1	0.0	0.0
サ	ービス	業	11.0	44.0	5.5	7.1	0.5	7.7	7.7	5.5	2.2	1.1	8.8	2.2	2.2
中	小 企	業	15.4	47.3	5.6	8.1	2.8	6.9	9.0	9.6	4.5	4.7	10.7	2.1	2.1
大	企	業	25.9	(51.9)	18.5	3.7	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	3.7

5位 1位

			14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
			経 費	営		代剰店	上家	化難人	費人	対労	資	金	難情	そ	無
	問		費	業	足、舗		が賃	`材	増手	策務	金	利	報	の	回 答
	語		の	利	駐、	の老、	り、	定難	過	管	借	負	不	他	答
	題点		増	益	車工	遅朽設	地	着、	剰	理	入	担	足		
	\/\\\		加	の			代	化求	`	`	難	の	`		
				低	用の	`過	の	の人	人	組		増	入		
			\sim	下	地狭	近	値	悪	件	合		加	手		
全	業	種	(21.1)	41.3	3.0	7.0	2.0	35.4	7.5	6.4	3.2	4.8	4.6	6.6	6.8
建	設	業	25.2	31.8	2.8	3.7	0.0	54.2	7.5	4.7	0.0	1.9	4.7	4.7	8.4
製	造	業	16.9	45.5	6.5	10.4	0.0	15.6	7.8	7.8	2.6	5.2	3.9	5.2	2.6
卸	売	業	17.6	46.1	3.9	8.8	2.0	22.5	4.9	5.9	2.0	5.9	4.9	7.8	7.8
小	売	業	30.9	43.6	5.5	12.7	5.5	27.3	5.5	5.5	1.8	3.6	3.6	10.9	3.6
運車	輸・倉庫	業	2.7	43.2	2.7	2.7	0.0	43.2	5.4	13.5	2.7	5.4	5.4	5.4	2.7
サ	ービス	業	23.1	41.2	0.5	5.5	3.3	40.7	9.9	6.0	6.6	6.0	4.9	6.6	8.8
中	小 企	業	20.6	41.5	3.0	6.6	1.7	35.3	7.5	6.2	3.4	5.1	4.9	6.6	6.8
大	企	業	29.6	37.0	3.7	14.8	7.4	37.0	7.4	11.1	0.0	0.0	0.0	7.4	7.4

4位 2位

3位

自社業況の景況判断推移(「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考)

